

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		運動・学習による子供自立支援教室あしんキッズ				公表日	2025年4月1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		安全に広く使えるよう考えています。	現状維持とします。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		問題行動を起こしてしまう確率が高い方の近くに居るよう配慮しています。	より効率的な対応を心がけます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		出来る限りシンプルな環境にしています。段差のないバリアフリーとなっています。	ご利用なさる方で変更が必要な方がおられれば改善していきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		築年数は新しくないので美化に注意しています。	今後も美化につとめていきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要な際は個別でクールダウン等ができるスペースがあります。	継続します。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		日々のミーティングで実施しています。	継続します。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		伺っております。	頂いたご意見から、多くのお声があったご要望については実現に向けて検討します。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々のミーティングで意見交換し対応に活かしています。	継続します。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在は行っていませんが、必要に応じて導入を検討します。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		業務負担を過度に増やさないよう、内容を考慮しています。	虐待や感染症以外にも、実例での事例検討などを継続します。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児発管が中心となりますが、作成時には児童指導員の報告等を考慮しています。	より精度の高いプランを目指します。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			継続します。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		共有し、日々のミーティングでスレがないようすり合わせしています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			必要な項目を満たすよう作成しています。	より精度の高いプランを目指します。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		児発管を中心に、児童指導員と話し合いを行なっています。	継続します。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		小集団での活動と、大集団での活動を組み合わせ作成し、サービス提供をしています。	継続します。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日のミーティングで内容、役割を確認し支援をおこなっています。	継続します。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終了後も、振り返りの時間をもうけています。	継続します。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録は介護ソフトを使用し、効率化を目指しています。	継続します。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		最低6ヶ月に1度の対応をしています。	継続します。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		その方に合わせた内容で複数を組み合わせて支援にあたっています。	継続します。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		将来自己決定ができるよう、小さなことから自身で選んで頂けるよう努めています。	継続します。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		現在ご利用の方ではあまり連携はありません。	連携が必要な方が発生した際は、是非協力します。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		個人情報保護の理由で、学校様から直接行事予定や下校時刻は伺っていません。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		新規ご契約時には特に情報共有をお願いさせていただいています。	今後も美化につとめていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		現在ご利用の方で事例はありません。	該当する方がおられたら提供いたします。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			該当する方がおられたら、是非お力添え頂きたいです。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		送迎時等の挨拶はありますが、プログラムとしては対応ありません。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			今後、検討します。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		計画書だけでなく、送迎時のお話しなどで共有・理解をはかっています。	継続します。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		家族の参加する行事については多数の方がお求めではありませんでした。	多数の方のご要望があれば実施を検討します。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		ご契約の際に、紙面を用いて説明をしています。一方で、時間がなかったとお声もありません。	継続します。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			継続します。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		ヒアリングを通して計画を作成しています。作成時にはご本人や保護者様の希望以意向を反映できるようつとめ、同意を得てサービスを提供しています。	継続します。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			継続します。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	父母会については多数派の方が不要とのことでした。	多数の方のご要望があれば実施を検討します。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		○	ご契約の段階で相談窓口を説明しています。苦情があった際は迅速に対応します。	継続します。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○	HPと介護ソフトを中心に発信しています。	継続します。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		○	個人情報は施錠管理しています。	継続します。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○	分かりやすい、伝わりやすい方法で行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	そのような機会はありませんでした。	多くの保護者様の希望があれば検討します。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	策定し職員には周知されていますが保護者様への周知は甘かったと思います。	保護者様への周知が必要。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○	BCP策定済み、避難訓練は毎年実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。		○	確認につとめています。	保護者様からの聴取を主な方法としており、保護者様から情報が無いと把握出来ない点。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	直接医師の指示を頂く事はありませんが保護者様を通じて禁食などは伺っています。	継続します。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○	作成し、避難訓練などを行っていますが、ご家族との連携については不十分な方もいらっしゃる。	継続します。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		お仕事等もある中ですので、ご負担にならない範囲で周知をします。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○	毎日のミーティングでの共有と、検討。記録による共有を行っています。	継続します。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		○	虐待防止研修は毎年行われています。	継続します。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○	初回面談時に説明しています。必要に応じ支援計画等に記載しています。	継続します。	